

マルチインパクト仮説^{2014 U06-P24}による、キンバーライトパイプの起源を アブダクションで検証

ー深部からダイヤモンド原石を含むマンツルの噴出メカニズムとプレートテクトニクスの実証ー

Verification of Origin of Kimber light pipe by Abduction with
Multi-Impact Hypothesis^{2014 U06-P24}

-Demonstration of Spourting Mantle (including deep diamond rocks) Mechanism actual Proof of Plate Tectonics -

*種子 彰¹

*Akira Taneko¹

1. SEED SCIENCE Lab.

1. SEED SCIENCE Lab.

キンバーライトパイプの形成仮説は、世界で初めてのオリジナルなアイデアです。

キンバーライトパイプによる地球深部からの炭素噴出でダイヤモンドの形成メカニズムは研究されているが、何故キンバーライトパイプの噴出が起きるのか、原因は不明であった。

マルチインパクト仮説^{2014 U06-P24}では惑星CERRAのマンツル断裂片が地球に衝突しマンツル欠損で海洋底の起源と成った。

地球衝突時衝突エネルギーは地球の対極で同時刻に到達し、マンツル深部からキンバーライトパイプが噴出する。

テーチス海を形成したDrake Passage 位置(高緯度)への衝突は、地軸を23.5 度程傾けるモーメントとミルーヌイ位置へのキンバーライトパイプの形成と、インド洋の形成とゴンドワナ大陸の分割と、分割された大陸が四方への大移動の原因となった。南極位置のマンツル欠損は、南極大陸がそこに移動してそれ以降は移動は起きていない。デカン高原やオーストラリアは活発に移動した。太平洋のハワイ位置への衝突では、大陸移動する前のアフリカのキンバリー位置であり、17.5 億年前のプレミア鉱山は大陸移動により鉱山ごと移動している。地球の反対側への衝撃波は、マンツルや地殻を突き破る衝撃ジェットの噴出と共に、ダイヤモンド鉱山が形成された。

この様に、マルチインパクト仮説からダイヤモンドの起源もアブダクションで検証できた。

世界で一番小さな個人科学研究所 SEED SCIENCE Labo. 探究対象は世界一広、過去も、[太陽系と月と地球の起源、宇宙は膨張しないetc]

キーワード：衝突エネルギーが全て地球対面への同時刻集中、マンツル欠陥によるアイソスタシーで深海洋底の起源、高緯度への衝突が地軸傾斜の偶力、ハワイへの衝突は大陸移動前のキンバリー鉱山の起源、アブダクションは、一度だけの進化の複数の結果を利用した検証、マルチインパクト仮説

Keywords: All collision energy concentrates at the same time at Counter position, Origin of deep ocean bottom with isostasy due to mantle defect, Collision to high latitude is the couple of the earth's axis tilt, Collision to Hawaii is the origin of the Kimberley mine before the continental movement, Abduction is a verification using multiple results of one-time evolution, the multi

impact hypothesis

P1-20 The unified manner to clarify the Missing Link of the Earth and the Moon,
Multi-Impact Hypothesis^[1] by the very unique Idea.

2016-9-12

7. ゴンドワナ大陸の亀裂形成とキンバーライト・パイプの成因と分布
ハワイ位置衝突⇒プレミア鉱山, ドレイク海峡位置衝突⇒ミルーヌイ鉱山
高緯度への衝突⇒地球自転軸の23.5°傾斜の起源となる.

原因:
裏面Mantle隕石衝突
衝撃波集中⇒圧力
衝撃力=パイプ形成
亀裂: ●17.5億年前
移動: ○約1億年前
衝撃波=パイプ形成

出典: 諏訪兼位 著
「アフリカ大陸から
地球がわかる」
岩波ジュニア新書2003
p103, p108,
プロット 種子彰
data: パスタリス他

